

平成30年度 津南町防災訓練 に参加しました

平成30年10月21日（日）、津南町の芦ヶ崎小学校において、「平成30年度 津南町防災訓練」が開催されました。

湯沢砂防事務所は、「土石流体感3Dシアター」を運用し、訓練参加者や見学に来られた方に、土砂災害の前兆現象や危険性、避難の大切さを認識していただきました。

また、湯沢砂防スペシャルエンジニア（YSSE）の三輪さん・本臼さんから、ミニ模型やパネルを用いて、砂防事業の必要性や砂防設備の効果を説明していただきました。

訓練当日は天候にも恵まれ、約100名の方に、砂防事業について理解を深めていただきました。

なお、防災訓練では、津南町で震度6強を観測した想定で、情報伝達、住民避難、安否確認等の訓練や、初期消火、応急手当、搬送等の演習が行われました。



3Dシアターで土石流を体感



桑原町長の講評

防災訓練の様子



放水訓練



ミニ模型で砂防の働きを説明



「砂防カード」も配布

初期消火訓練
(消火器)